

チアリーダーの自己意識とその機能  
ーチアリーダーの感情演出や“感情共有”装置などの役割に注目してー

立命館大学大学院  
応用人間科学研究科  
対人援助学領域  
家族機能・社会臨床クラスター  
玉村 文

現代において、チアリーダーはスポーツの試合というステージに登場する。彼女たちは華やかな衣装やミニスカートを身に付け、女性性を押し出しているように見える。この研究の目的は以下の二つである。一つは、彼女たちの活動の特徴的な要素を調べ、もう一つは特徴だと思われることがどのように自己意識のうえにあるかを明示することにある。そのうえで、チアリーダーの役割と体験生じるチアリーダーの機能とは何かについて検討を行った。研究方法は、チアリーダーを対象に質問紙調査と半構造化面接を行った。

この研究では、チアリーダーの機能と自己意識について以下のようなことがわかった。

スポーツの試合という場にいるチアリーダーは選手と観客を結びつける。そして、彼女たちは、その華やかなパフォーマンスによって人々をスポーツという名の劇場に惹き付ける、すなわち彼女たちの仕事はエモーショナル・ワークでもあった。スポーツという場のなかで、彼女たちは選手や観客と情緒的一体感を感じることを喜びとしている。

また、彼女たちは性的な存在と見られる若い女の子という役割ももっている。もう一方で、彼女たちの自己意識は見られることを望んでいる。そのため、チアリーダーは「名傍役」と自己を位置づけている。さらに、チアリーディングの意味づけは「名傍役」から「主役」へと転換していくことも示された。